

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	履正社医療スポーツ専門学校
設置者名	学校法人履正社

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の授業時数又は単位数	省令で定める授業時数又は基準単位数	配置困難
文化・教養 専門課程	スポーツ学科 (アスレティック トレーナーコース)	夜・ 通信	210 時間	160 時間	
	スポーツ学科 (ライフ・フィットネス トレーナーコース)	夜・ 通信	270 時間	160 時間	
	スポーツ学科 (サッカーコース)	夜・ 通信	330 時間	160 時間	
	スポーツ学科 (バスケットボール コース)	夜・ 通信	300 時間	160 時間	
	スポーツ外国語学科	夜・ 通信	450 時間	240 時間	
	スポーツ外国語学科	夜・ 通信	180 時間	90 時間	
医療専門課程	鍼灸学科	夜・ 通信	330 時間	240 時間	
	柔道整復学科	夜・ 通信	300 時間	240 時間	
	理学療法学科	夜・ 通信	390 時間	320 時間	
	理学療法学科	夜・ 通信	300 時間	180 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.riseisha.ac.jp/school/shugaku/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名

(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	履正社医療スポーツ専門学校
設置者名	学校法人履正社

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.riseisha.ac.jp/school/shugaku/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	大阪市立大学 教授 (1993.6.29~)	1993.6.29~ 2026.3.31	「経営方針」「教育方針」「組織運営体制」「法務」「財務」のチェック機能
非常勤	吉田運送(株) 代表取締役 (2007.3.30~)	2007.3.30~ 2026.3.31	「経営方針」「教育方針」「組織運営体制」「法務」「財務」のチェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	履正社医療スポーツ専門学校
設置者名	学校法人履正社

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 履正不尨の教育理念に基づき、教育目標を設定し各授業科目のシラバスを作成している。シラバスには授業科目の概要・目的・到達目標・成績評価の方法および、履修にあたっての注意事項を記載している。 シラバスは新年度開始前の3月末までに作成し、4月のオリエンテーション終了後に公表する。	
授業計画書の公表方法	https://www.riseisha.ac.jp/school/shugaku/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 各授業科目のシラバスに明記 <ul style="list-style-type: none"> ・定期試験(100%~70%の配点、レポート課題がある授業に関しては加算する) ・出席率(60%を下回るとテスト受験資格がなくなる。) ・授業中に実施する復習テスト(10%~30%の配点がある教科もある) ・質問や発言などの積極的な授業態度(5%程度加点) ・レポート課題の提出(10%~30%の配点がある教科もある) 	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>年度末に進級判定会議を行う際、単位取得率および出席率の合計で順位付けを厳正に行い、優秀者には授業料の減免を行っている。</p> <p>最終成績をポイント制にし、優（3ポイント）、良（2ポイント）、可（1ポイント）、不可（0ポイント）、出席率を百分率換算しそれらの合計値によって成績分布を把握している。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>https://www.riseisha.ac.jp/school/shugaku/</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取り組みの概要)</p> <p>卒業要件については、学則に定める教育課程の所定の科目を履修のうえ、指定された単位数を修得し、規定の出席率をみたしたものを卒業判定会議の審査にて校長が認定。なお卒業に必要な単位時間数はスポーツ学科（全コース共通）1860時間、スポーツ外国語学科（昼間部）3150時間、スポーツ外国語学科（夜間部）1800時間、鍼灸学科 2685時間、柔道整復学科 2760時間、理学療法学科（昼間部）3450時間、理学療法学科（夜間部）3450時間とする。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>https://www.riseisha.ac.jp/school/shugaku/</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	履正社医療スポーツ専門学校
設置者名	学校法人履正社

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.riseisha.jp/information/pdf/
収支計算書又は損益計算書	http://www.riseisha.jp/information/pdf/
財産目録	http://www.riseisha.jp/information/pdf/
事業報告書	http://www.riseisha.jp/information/pdf/
監事による監査報告（書）	http://www.riseisha.jp/information/pdf/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	スポーツ学科 (アスレティックトレーナーコース)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1860 単位時間	1350 単位時間	90 単位時間	240 単位時間	180 単位時間	
			1860 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
280 人の内数		89 人	0 人	9 人	26 人	35 人	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
100 人 (100%)	16 人 (16%)	69 人 (69%)	15 人 (15%)
(主な就職、業界等) フィットネスクラブ、病院、福祉施設			
(就職指導内容) 就職試験対策（筆記・面接）、業界説明会			
(主な学修成果（資格・検定等）) スポーツ系資格（トレーナー、指導者）、医療福祉系（鍼灸、柔整、理学、介護）			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
88人	11人	12.5%
(中途退学の主な理由) 経済的理由、進路変更、一身上の都合		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制を導入し、学生1人1人の学習等をサポート。中退者に対しては本人の希望があれば就職先の斡旋。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	文化・教養 専門課程	スポーツ学科 (ライフ・フィットネストレーナーコース)	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1860 単位時間	1350 単位時間	90 単位時間	240 単位時間	180 単位時間	180 単位時間
			1860 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
280人の内数	81人	1人	3人	13人	16人		

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
100人 (100%)	16人 (16%)	69人 (69%)	15人 (15%)
(主な就職、業界等) フィットネスクラブ、病院、福祉施設			
(就職指導内容) 就職試験対策（筆記・面接）、業界説明会			
(主な学修成果（資格・検定等）) スポーツ系資格（トレーナー、指導者）、医療福祉系（鍼灸、柔整、理学、介護）			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
70人	7人	10%
(中途退学の主な理由) 経済的理由、進路変更、一身上の都合		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制を導入し、学生1人1人の学習等をサポート。中退者に対しては本人の希望があれば就職先の斡旋。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	文化・教養 専門課程	スポーツ学科 (サッカーコース)	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1860 単位時間	1350 単位時間	90 単位時間	240 単位時間		180 単位時間
			1860 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
280 人の内数	56 人	2 人	3 人	10 人	13 人		

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
100 人 (100%)	16 人 (16%)	69 人 (69%)	15 人 (15%)
(主な就職、業界等) フィットネスクラブ、病院、福祉施設			
(就職指導内容) 就職試験対策（筆記・面接）、業界説明会			
(主な学修成果（資格・検定等）) スポーツ系資格（トレーナー、指導者）、医療福祉系（鍼灸、柔整、理学、介護）			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
52 人	4 人	7.7%
(中途退学の主な理由) 経済的理由、進路変更、一身上の都合		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制を導入し、学生 1 人 1 人の学習等をサポート。中退者に対しては本人の希望があれば就職先の斡旋。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	スポーツ学科 (バスケットボールコース)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1860 単位時間	1350 単位時間	90 単位時間	240 単位時間	180 単位時間	
			1860 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
280 人の内数	74 人	2 人	3 人	7 人	10 人		

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
100 人 (100%)	16 人 (16%)	69 人 (69%)	15 人 (15%)
(主な就職、業界等) フィットネスクラブ、病院、福祉施設			
(就職指導内容) 就職試験対策（筆記・面接）、業界説明会			
(主な学修成果（資格・検定等）) スポーツ系資格（トレーナー、指導者）、医療福祉系（鍼灸、柔整、理学、介護）			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
71 人	10 人	14.1%
(中途退学の主な理由) 経済的理由、進路変更、一身上の都合		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制を導入し、学生 1 人 1 人の学習等をサポート。中退者に対しては本人の希望があれば就職先の斡旋。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	スポーツ外国語学科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3150 単位時間	1350 単位時間	90 単位時間	1380 単位時間	330 単位時間	
			3150 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
90人	17人	0人	5人	5人	10人		

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容）			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
15人	4人	26.7%
（中途退学の主な理由） 経済的理由、進路変更、一身上の都合		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任制を導入し、学生1人1人の学習等をサポート。中退者に対しては本人の希望があれば就職先の斡旋。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	スポーツ外国語学科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	夜	1800 単位時間	1560 単位時間	60 単位時間	60 単位時間	120 単位時間	
			1800 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
60人	4人	0人	5人	5人	10人		

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(主な就職、業界等) フィットネスクラブ、病院、福祉施設			
(就職指導内容) 就職試験対策（筆記・面接）、業界説明会			
(主な学修成果（資格・検定等）) スポーツ系資格（トレーナー、指導者）、医療福祉系（鍼灸、柔整、理学、介護）			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
3人	0人	0%
(中途退学の主な理由) 経済的理由、進路変更、一身上の都合		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制を導入し、学生1人1人の学習等をサポート。中退者に対しては本人の希望があれば就職先の斡旋。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	鍼灸学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2685 単位時間	1335 単位時間	360 単位時間	180 単位時間	810 単位時間	
			2685 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
180人	131人	0人	8人	12人	20人		

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
52人 (100%)	2人 (3.8%)	34人 (65.4%)	16人 (30.8%)
(主な就職、業界等) フィットネスクラブ、病院、福祉施設			
(就職指導内容) 就職試験対策（筆記・面接）、業界説明会			
(主な学修成果（資格・検定等）) スポーツ系資格（トレーナー、指導者）、医療福祉系（鍼灸、柔整、理学、介護）			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
136人	8人	5.9%
(中途退学の主な理由) 経済的理由、進路変更、一身上の都合		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制を導入し、学生1人1人の学習等をサポート。中退者に対しては本人の希望があれば就職先の斡旋。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	柔道整復学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2760 単位時間	1500 単位時間	450 単位時間	180 単位時間	630 単位時間	
			2760 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
180人		155人	0人	8人	21人	29人	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
40人 (100%)	10人 (25%)	27人 (67.5%)	3人 (7.5%)
(主な就職、業界等) フィットネスクラブ、病院、福祉施設			
(就職指導内容) 就職試験対策（筆記・面接）、業界説明会			
(主な学修成果（資格・検定等）) スポーツ系資格（トレーナー、指導者）、医療福祉系（鍼灸、柔整、理学、介護）			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
152人	25人	16.4%
(中途退学の主な理由) 経済的理由、進路変更、一身上の都合		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制を導入し、学生1人1人の学習等をサポート。中退者に対しては本人の希望があれば就職先の斡旋。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	理学療法学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	3450 単位時間	2190 単位時間	240 単位時間	810 単位時間	210 単位時間	
			3450 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
160人	117人	0人	12人	53人	65人		

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
22人 (100%)	0人 (0%)	13人 (59.1%)	9人 (40.9%)
(主な就職、業界等) フィットネスクラブ、病院、福祉施設			
(就職指導内容) 就職試験対策（筆記・面接）、業界説明会			
(主な学修成果（資格・検定等）) スポーツ系資格（トレーナー、指導者）、医療福祉系（鍼灸、柔整、理学、介護）			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
109人	15人	13.8%
(中途退学の主な理由) 経済的理由、進路変更、一身上の都合		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制を導入し、学生1人1人の学習等をサポート。中退者に対しては本人の希望があれば就職先の斡旋。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	理学療法学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	夜	3450 単位時間	2190 単位時間	240 単位時間	810 単位時間	210 単位時間	
			3450 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		114人	0人	12人	53人	65人	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
6人 (100%)	0人 (0%)	6人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) フィットネスクラブ、病院、福祉施設			
(就職指導内容) 就職試験対策（筆記・面接）、業界説明会			
(主な学修成果（資格・検定等）) スポーツ系資格（トレーナー、指導者）、医療福祉系（鍼灸、柔整、理学、介護）			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
83人	12人	14.5%
(中途退学の主な理由) 経済的理由、進路変更、一身上の都合		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制を導入し、学生1人1人の学習等をサポート。中退者に対しては本人の希望があれば就職先の斡旋。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
スポーツ学科 (全コース共通)	100,000 円	740,000 円	390,000 円	別途教材費
スポーツ外国語学科 (昼間部)	200,000 円	1,000,000 円	400,000 円	別途教材費
スポーツ外国語学科 (夜間部)	200,000 円	750,000 円	300,000 円	別途教材費
鍼灸学科	300,000 円	800,000 円	560,000 円	別途教材費
柔道整復学科	300,000 円	800,000 円	560,000 円	別途教材費
理学療法学科 (昼間部)	300,000 円	980,000 円	444,000 円	別途教材費
理学療法学科 (夜間部)	300,000 円	710,000 円	280,000 円	別途教材費
修学支援 (任意記載事項)				
履正社特別奨学金・特待生制度				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
https://www.riseisha.ac.jp/school/shugaku/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
https://www.riseisha.ac.jp/school/shugaku/		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
公益社団法人 全日本鍼灸学会	2019年4月1日～ 2022年3月31日 (任期更新)	企業等委員
ラックヘルスケア株式会社	2019年4月1日～ 2022年3月31日 (任期更新)	企業等委員
やなぎ整形外科クリニック	2019年4月1日～ 2022年3月31日 (任期更新)	企業等委員
なかたに鍼灸整骨院	2019年4月1日～ 2022年3月31日 (任期更新)	企業等委員
ハギーコーポレーション	2019年4月1日～ 2022年3月31日 (任期更新)	企業等委員
むらかわ接骨院	2019年4月1日～ 2022年3月31日 (任期更新)	企業等委員
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
https://www.riseisha.ac.jp/school/disclosure/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
https://www.riseisha.ac.jp/

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	履正社医療スポーツ専門学校
設置者名	学校法人履正社

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		124人	111人	126人
内 訳	第Ⅰ区分	79人	70人	
	第Ⅱ区分	28人	26人	
	第Ⅲ区分	17人	15人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				126人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	一人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	0人	0人	一人
計	一人	0人	一人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	一人
3月以上の停学	0人
年間計	一人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	一人	一人	一人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	一人	一人	一人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。